

新しい道徳を目指して

～校内研修会 提案授業のまとめから～

読み物資料の提示を2回に分けない。資料から道徳的価値について考える発問は1つ。振り返りから道徳的価値について考えを深めることに時間をもっと割く。資料から考えることに20分、振り返りから考えることに20分を割り当てる。みんなでチャレンジしよう。うまくいかなければ、みんなで考えよう。

1 指導案

主題名 「正直に明るいい心で」 A 正直、誠実

教材名 「六セント半のおつりーリンカーンの話ー」

展 開

- ① 前半部分を読み、「もし、自分がエイブだったらどうするのか」を考える。
- ② 後半部分を読み、どうしてすぐに返しに行ったのか考える。
- ③ 道徳的価値を基に、これまでの自分を振り返る。

ワークシート

- 1 正直に行動できず、もやもやしたり相手を傷つけたりしたことはありますか。
また、正直に行動してスッキリしたり、相手が笑顔になったりしたことはありますか。
- 2 正直に行動するために自分が大切にしたいことは、

2 全体提案の前に中学年部内で提案授業 授業者と

(1) 良かったところ

- 教師の発問に対して、子どもに発言(答え)を求めたとき、
 - ①では「迷っている人はいませんか」、②では「困っている人はいませんか」からスタートしたところが良かった。
- また、①では、意見の少ない方から発表させてところも良かった。
- その他、良かったところはいっぱいありましたが、省略。

(2) 課題

- 資料の読み取りを丁寧に進めた。36分間かかった。その結果、自分を振り返る時間がなくなった。8分間しかなかった。
- 自分を振り返る場面での指導が雑になった。ワークシートに二つの項目について、「さあ、書きましょう。」となった。発表してもらいますという教師の言葉に、もっと書く時間がほしいという意味で、「え～」という声が上がった。
- そもそも「自分の振り返りに十分に時間をとる。そのために読み取りに関する発問を絞る」というチャレンジではなかったか。
- 「ワークシートの1を書く。その交流をする。ワークシートの2を書く。その交流をする。」といった展開をするならば、20分間は必要であろうし、指導案本時の展開も厚くなるはず。

3 全体研(全校提案)での提案授業

- 同じ指導案で提案授業に臨んだ。

- 後半部分の読み取りから、教師が期待する答えがでなかったことから、次の発問、次の発問と進めていった。
- 資料から考えること30分間、自分の振り返りに10分間となった。
- 児童Aさんの振り返りがとても良かった。教師は机間指導でAさんの振り返りをつかみ、Aさんが発表できるよう支援した結果、全体交流での発表となった。
- Aさんの振り返りからもっと道徳的価値を深めたかった。資料の読み取りに時間を掛けたが、これほど時間を掛けなくても、Aさんの振り返りは出たのではないだろうか。
- 振り返りからもっと道徳的価値について深く考えさせたい。

以上のことから

- ※ 読み物資料の提示を2回に分けない。資料から道徳的価値について考える発問は1つ。振り返りから道徳的価値について考えを深めることに時間をもっと割く。資料から考えることに20分、振り返りから考えることに20分を割り当てる。みんなでチャレンジしよう。うまくいかなければ、みんなで考えよう。